

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金
平成30年度 第4回理事会議事録

1. 開催日時 平成31年3月11日(月) 10時00分から11時15分
2. 開催場所 福井市文京3丁目9番1号 福井大学本部棟第1会議室
3. 出席者 理事総数 11名
出席理事 7名
理事長 細谷龍平
理事 一居利博、岡田智絵、黒原繁夫、高比良博則、舘 清隆、平塚幹夫
監事総数 2名
出席監事 2名
監事 川村武士、久々津久和
陪席者 5名
北村幸一(福井市グリフィス記念館学芸員)、岩本雄太(公益社団法人福井青年会議所理事長)、野尻純平(同副理事長)、高嶋佑輔(福井県総務部大学・私学振興課主査)、岡田正史(福井大学学務部長)

4. 議 題

審議事項

- 第1号議案 当基金の立て直しに向けた諸方策について
- 第2号議案 2019年度事業計画案及び予算案について
- 第3号議案 当基金直営事業の実施に向けた変更認定申請について
- その他

5. 定足数の確認

理事総数11名中7名の出席があり、定足数を満たしていることを確認した。

6. 議事概要

第1号議案 当基金の立て直しに向けた諸方策について

理事長から、以下の諸点について報告があり、全員異議なくこれを承認した。

・広報の強化

理事長から、当基金の認知度向上のためウェブサイトを更新したこと、またウェブサイト上に無料会員登録ページを設け、登録を促すためのチラシを4,000部作成し、福井大学、福井青年会議所、福井市など関係機関の協力を得て配布しているとの報告があった。

・関係機関との連携強化

理事長から、福井青年会議所と次年度イベントなどについて協議を進めていること、また、ラトガース大学関係者に当基金のことを周知し、2020年5月に同大学Honors College(優等生が集まる分野横断的学部)のグループが訪福することなどに向けて種々協力していくことについて報告があった。

・収入の強化策

理事長から、募金箱については当初想定していた形での実施には困難も判明し、保留としているが、FNSの募金キャンペーンなど他団体の経験も聴取しつつ引き続き何らかの形で実現する方向で検討していることの紹介があった。また、グリフィス来日150周年となる2020年には、上記のラトガース大学グループの来訪に合わせたイベントとして、当基金としてもできることを模索していく旨、説明があった。さらに、福井放送(株)(FBC)の協力を得てウィリアム・グリフィスの半生を描くテレビ番組制作の構想があることについても併せて案内があった。

・支出の見直し

理事長から、固定化していた既存事業を見直し、また新たに学術研究事業を取り入れていく方向で検討してきた旨説明、具体的には次の2号議案で諮る事業計画案に結果が反映されていることの紹介があった。

第2号議案 2019年度事業計画案及び予算案について

- ・2月に開かれた2019年度事業応募案件の審査委員会で委員長を務めた陪席者の岡田氏から、資料に基づき、2019年度事業計画(案)について説明があった。
- ・理事長から、前年度からの実質的な変更は、①一件あたり上限50万円の原則を徹底し、これまでその例外を設けていた各大学の短期留学支援にもこれを当てはめたこと、②福井青年会議所が当基金の助成を受けて10年続けてきた小学生作文コンクールを来年度は行わないこと、③福井大学附属図書館の主催により、グリフィスをテーマとする県内大学生の論文コンクールの応募が新規事業としてあったことの説明があった。
- ・理事長から、①助成案件の各実施団体においては、関係する大学生、生徒などの全員が助成金から均等に裨益するようにしてもらうこと、②裨益者に当基金のチラシを配布してもらうなどの手立てを通じて、当基金の助成が行われていることを周知してもらいたいとの要請があった。また、大学生、生徒などの関係者が集まる適当な場で当基金及び日下部・グリフィスについて講演するなどアピールする機会を設定して欲しい旨、併せて依頼があった。
- ・事務局から、2019年度予算案について資料に基づき説明があり、審議の結果、全員異議なくこれを承認した。

第3号議案 当基金直営事業の実施に向けた変更認定申請について

理事長から、日下部とグリフィス及び当基金の認知度は現在かなり低くなってしまっており、その向上のためには、基金として従来の申請を受けて助成をするという受け身の形だけでは、十分意義のある新規案件の掘り起こしにつなげていくことは容易でなく、当面は基金自身も能動的に活動できるようにすることが必要と考えているとした上で、そのためには定款を変更することが望ましく、その方向で検討したいとの発言があった。具体的には、6月の理事会と評議員会で改めて定款の変更案も含めて諮り、承認を得た上で、その後、県の公益認定等委員会に変更を申請し、そこで承認されれば2020年度より直営事業の実施が可能となると見込まれるとした。審議の結果、この方針を全員異議なく承認した。

その他

理事から、ウェブで個人会員登録者が登録した経緯を記入する欄を登録ページに追加してはどうかとの発言があり、それを受け理事長から、登録状況を今しばらく見た上で費用対効果も考慮しながら検討したいとの説明があった。また、クラウドファンディングを今後検討していく上で、関係理事の協力を得ることを確認した。

理事から、基金の公式マークなどがあればステッカーを貼付することで認知度をあげることができるのではないかと提案があり、理事長から、マークやロゴはすでに作成したウェブサイトの図案も活用し予算は余りかけずに作成することができるので、今後検討していきたいとした。

理事から、SNSで基金の案内をしていくのはどうかとの提案があり、理事長から、費用対効果を考えながら今後検討していきたいと応じた。

以上をもって議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、出席した理事長及び監事は次のとおり記名押印する。

平成31年3月11日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 代表理事(理事長) 細谷 龍平

監事 川村 武士

監事 久々津 久和